

2024年7月期 決算補足資料

2024年9月27日

 **株式会社 稲葉製作所**

証券コード：3421
(東証スタンダード市場)



2024年7月期の業績について

持続的成長・企業価値向上への取組について
～資本収益性改善に向けて～

新製品・事例のご紹介

【ご参考】会社概要

業績サマリー

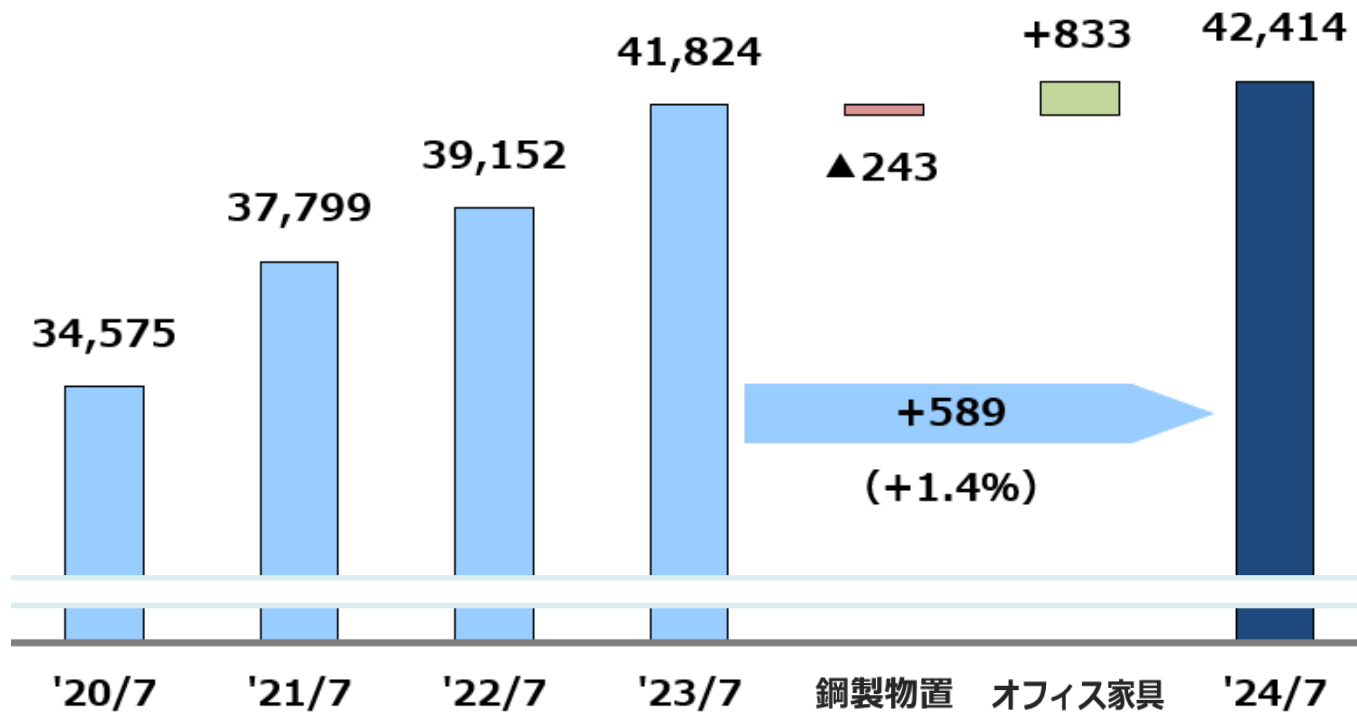
(単位:百万円)	2023/07期		2024/07期		
		対売上比		対売上比	前期比
売上高	41,824	100.0%	42,414	100.0%	+1.4%
鋼製物置	29,484	70.5%	29,241	68.9%	▲0.8%
オフィス家具	12,339	29.5%	13,172	31.1%	+6.7%
売上総利益	10,509	25.1%	11,180	26.4%	+6.4%
償却前営業利益	4,583	11.0%	4,885	11.5%	+6.6%
営業利益	2,754	6.6%	3,064	7.2%	+11.3%
経常利益	3,106	7.4%	3,402	8.0%	+9.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,970	4.7%	2,441	5.8%	+23.9%

連結売上高

- ・ 鋼製物置は微減、オフィス家具は増収となり、連結売上高は1.4%の増収

連結売上高推移

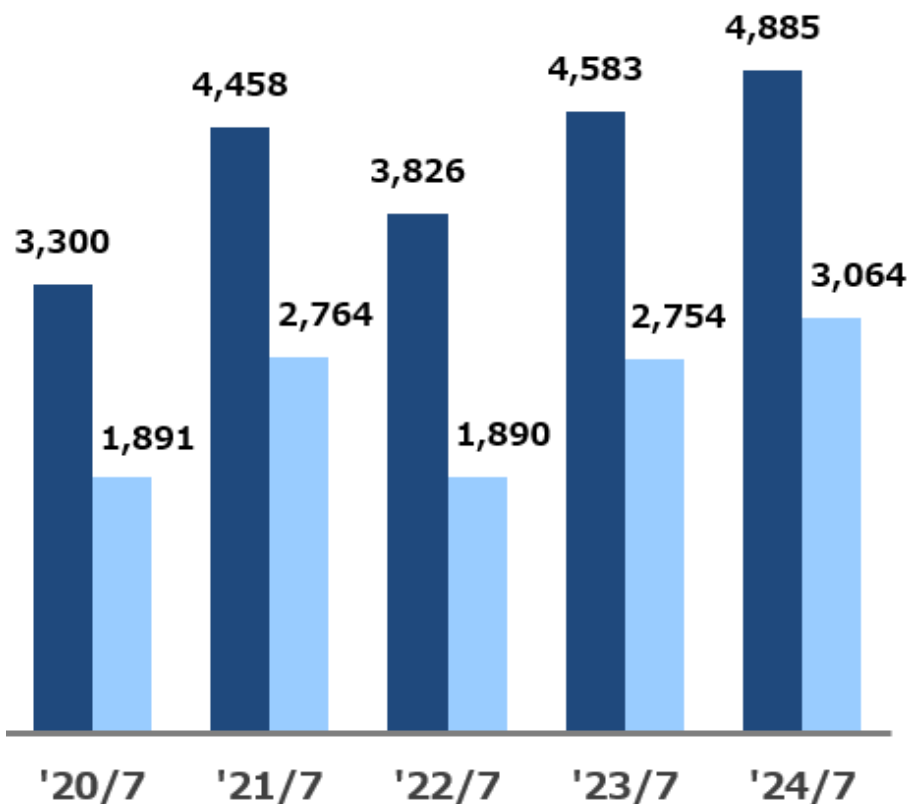
(単位：百万円)



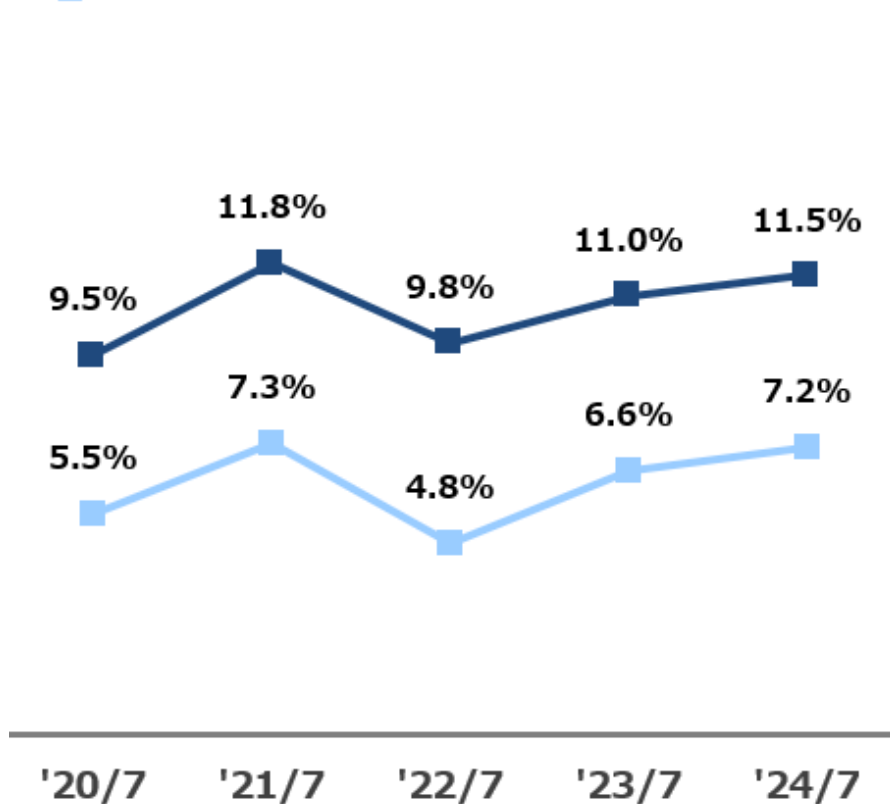
連結営業利益・償却前営業利益

- ・ 営業利益は +310百万円 (+11.3%)
- ・ 償却前営業利益は +302百万円 (+6.6%)

■ 償却前営業利益 (単位：百万円)
■ 営業利益



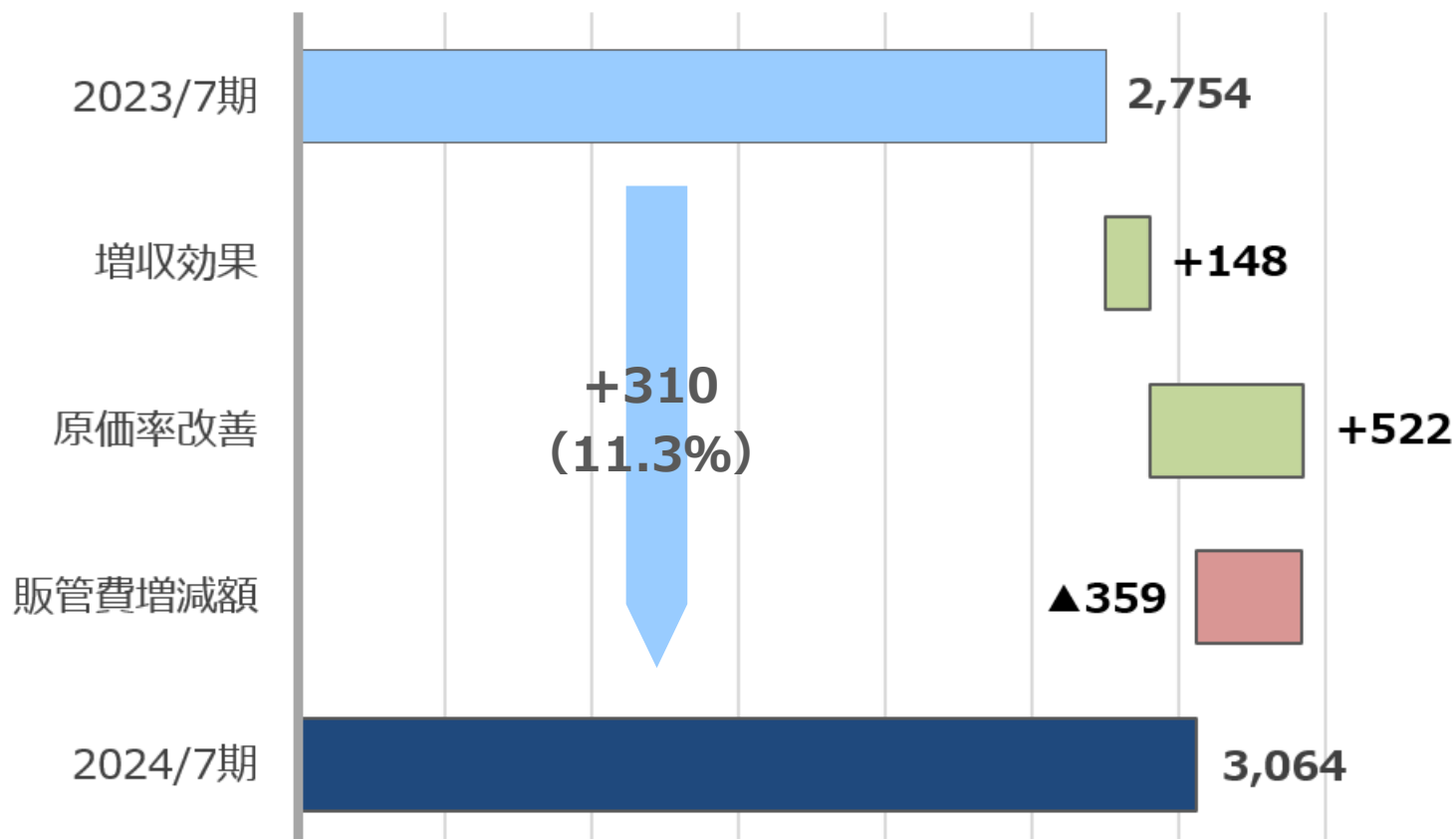
■ 売上高償却前営業利益率 (単位：%)
■ 売上高営業利益率



連結営業利益 前期比増減要因

- ・ 価格改定による採算改善により、販管費の増加を吸収し、増益

(単位：百万円)



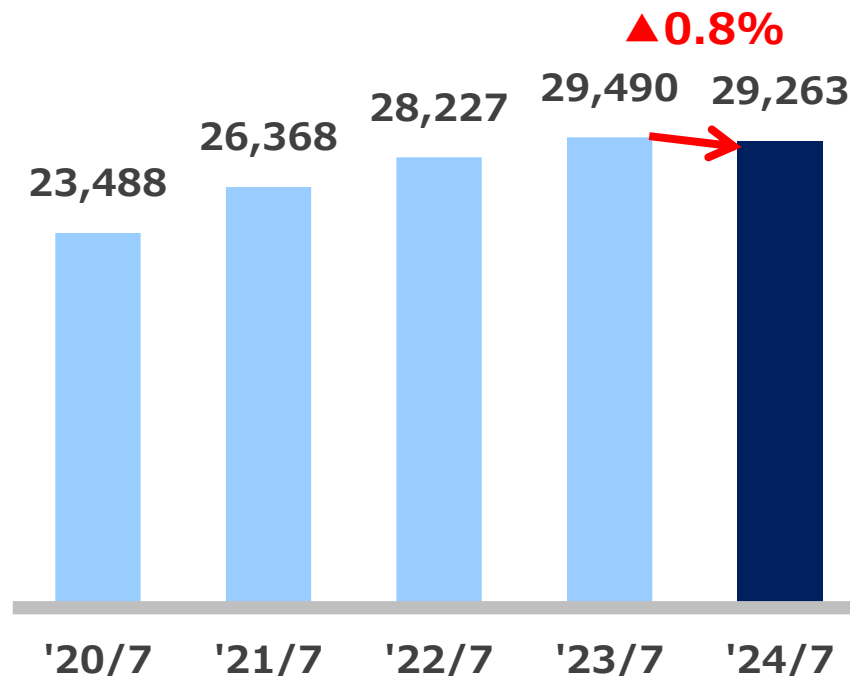
鋼製物置セグメント

- ・セグメント売上高は ▲226百万円（ ▲0.8%）
- ・セグメント利益は +546百万円（+17.0%）
- ・価格改定前の駆け込み需要の反動など、価格改定後の需要は低調に推移
- ・コロナ禍で休止していたCM放映や対面方式での物置勉強会を再開

※鋼材価格などの高騰に対応するため、2021年10月・2022年7月・2023年1月に価格改定を実施

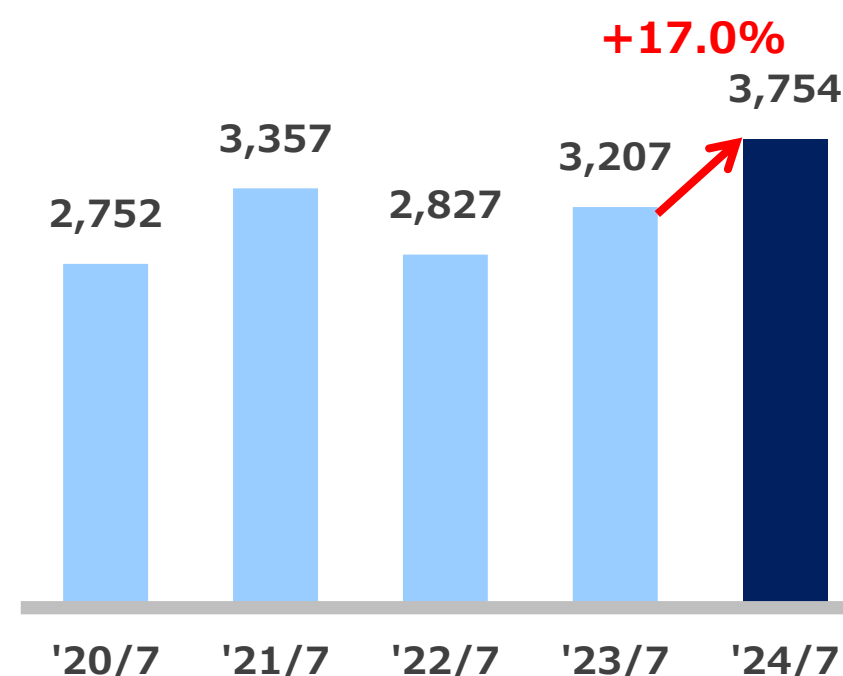
セグメント売上高

（単位：百万円）



セグメント利益

（単位：百万円）



※売上高には、セグメント間の内部売上が含まれているため、業績サマリー（3ページ）の数値と必ずしも一致しません

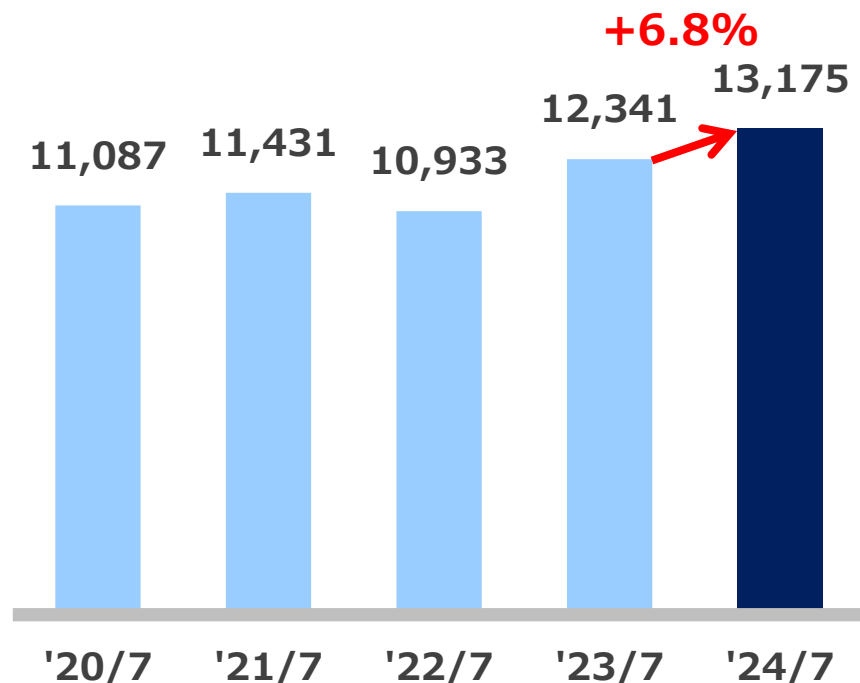
オフィス家具セグメント

- ・セグメント売上高は +833百万円（ +6.8%）
- ・セグメント利益は ▲197百万円（▲35.1%）
- ・オフィスのリニューアル需要は堅調に推移。価格転嫁の浸透を図り、提案営業を展開

※鋼材価格などの高騰に対応するため、2022年1月・2022年8月・2023年1月に価格改定を実施

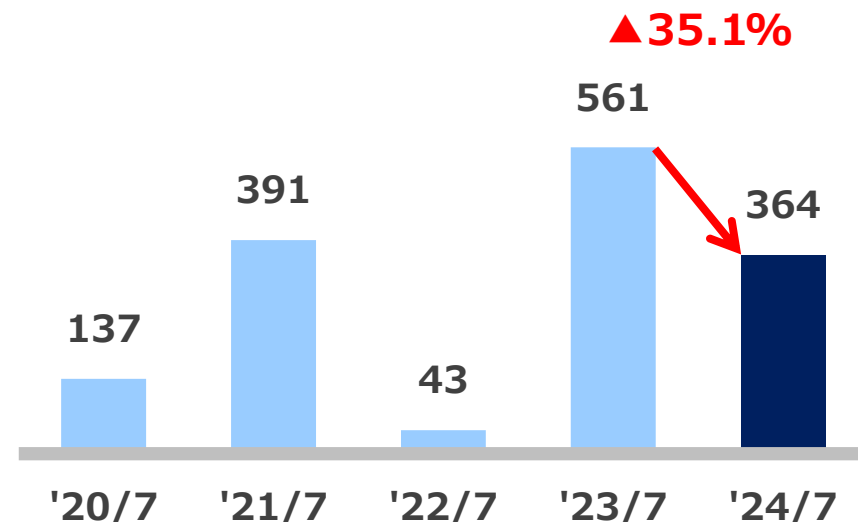
セグメント売上高

（単位：百万円）



セグメント利益

（単位：百万円）



※売上高には、セグメント間の内部売上が含まれているため、業績サマリー（3ページ）の数値と必ずしも一致しません

2025年 7 月期は増収増益の見通し

- ・ 売上高は、鋼製物置セグメント・オフィス家具セグメントともに堅調な市況を見込み、増収の計画
- ・ コスト面では、鋼材価格は依然高止まりを見込む。犬山工場ガレージ生産設備稼働に伴い減価償却費は増加

(単位:百万円)	2024/07期		2025/07期		
	実績	対売上比	予想	対売上比	前年比
売上高	42,414	100.0%	44,290	100.0%	+4.4%
鋼製物置	29,241	68.9%	30,580	69.0%	+4.6%
オフィス家具	13,172	31.1%	13,710	31.0%	+4.1%
営業利益	3,064	7.2%	3,240	7.3%	+5.7%
経常利益	3,402	8.0%	3,600	8.1%	+5.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,441	5.8%	2,450	5.5%	+0.3%

2024年7月期の業績について

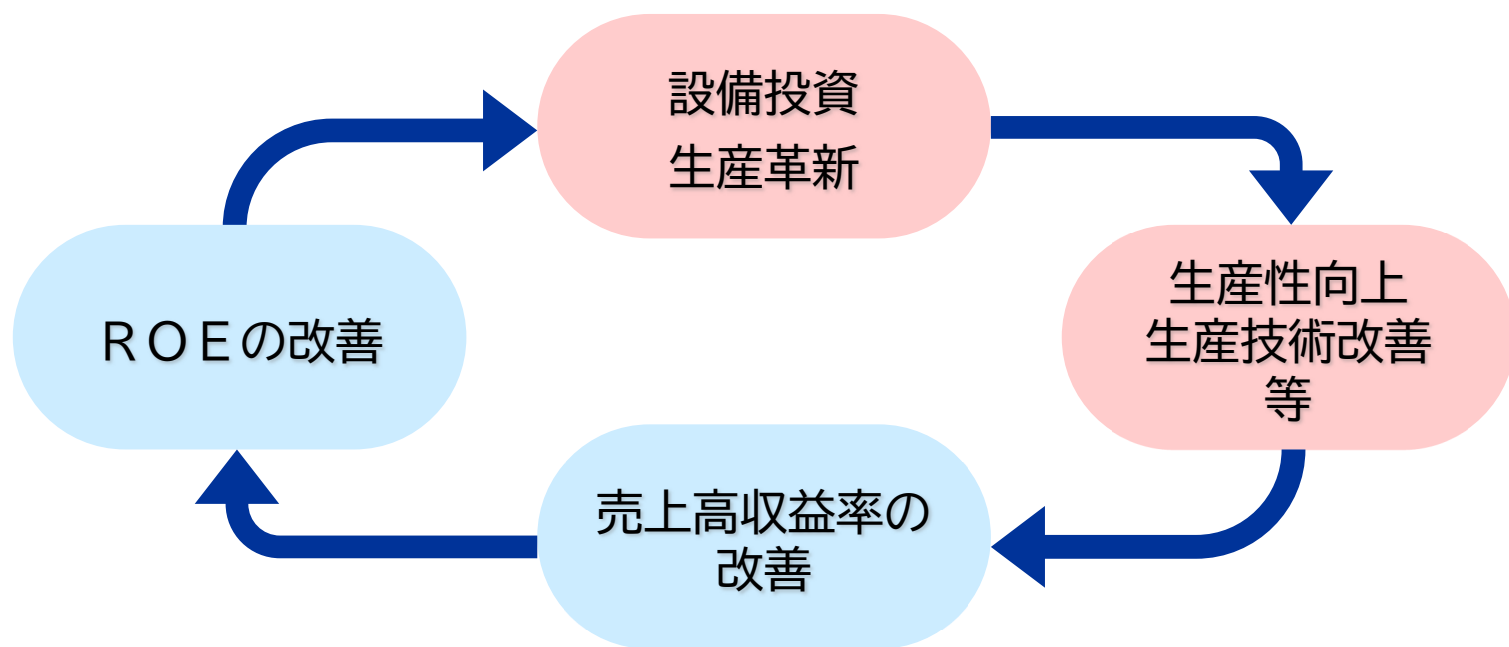
持続的成長・企業価値向上への取組について
～資本収益性改善に向けて～

新製品・事例のご紹介

【ご参考】会社概要

基本的な考え方

- ・当社は、持続的成長・企業価値向上には、設備投資・生産革新が重要であるとの認識のもと、設備投資により、生産性の改善・生産技術の改善を図ることで、売上高収益率の改善に結びつけ、これにより資本収益性・ROEの維持・向上を図り、これを次の設備投資・生産革新に結び付けていく好循環サイクルを目指しております。



当面の取組（2024年7月期～）

大型製品(倉庫・ガレージ)の生産能力増強を図ります

- ・ 富岡工場に加え、犬山工場に大型製品生産ラインを新設
- ・ 併せて西日本地区への大型製品物流効率化

<進捗状況>→2024年8月から稼働開始

犬山・富岡・柏の3工場最適生産体制構築を目指します

- ・ オフィス家具の生産を、犬山工場から
主要マーケットである首都圏に近い柏工場に生産移管
- ・ 柏工場の一般物置生産の一部を富岡工場に移管

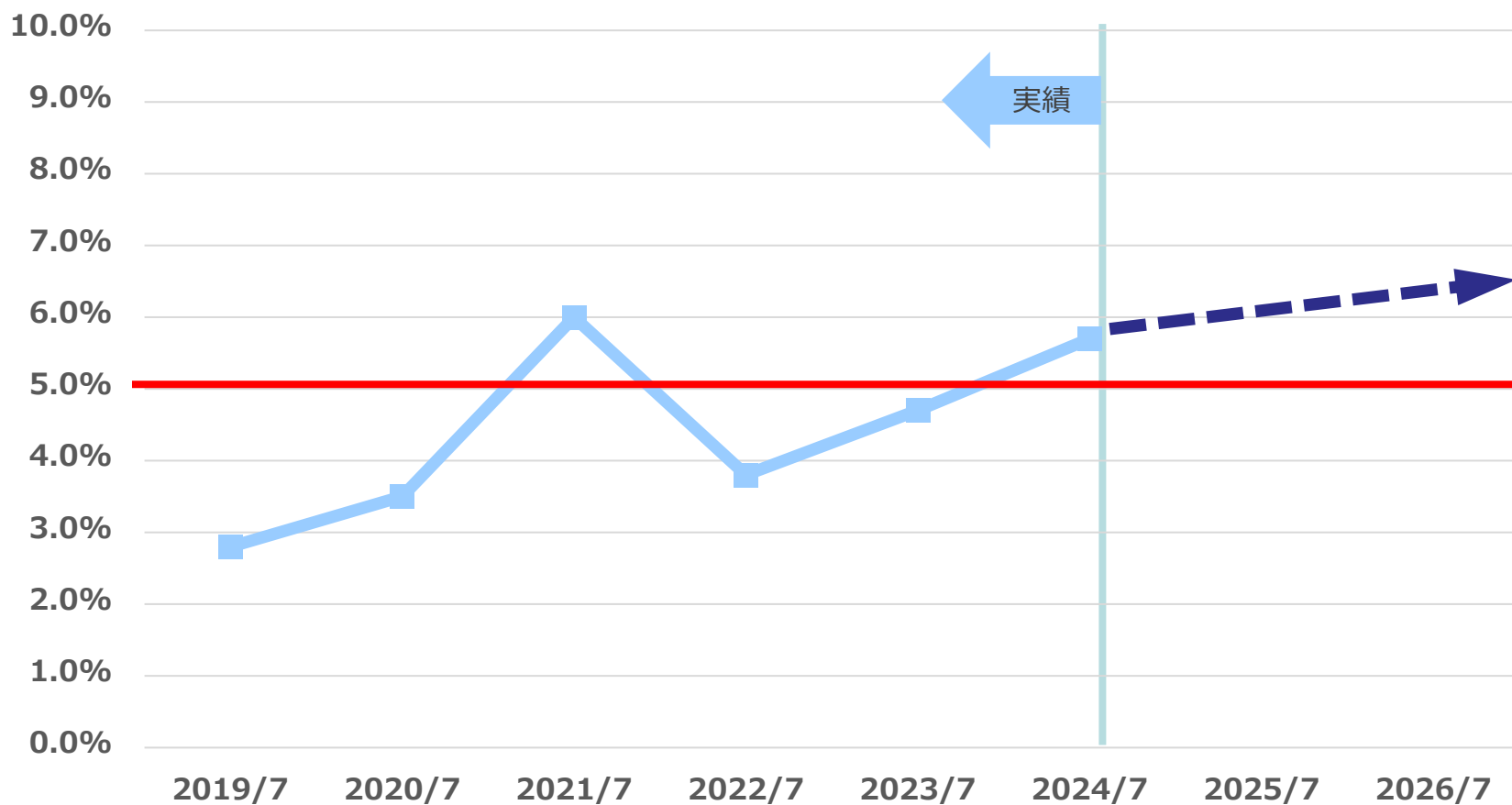
<進捗状況>→順次生産移管進捗中

これらを基盤として、**更なる積極的な生産改善投資**により
収益力の向上、ならびに物流負荷軽減とBCPの強化をめざします

生産革新等により、ROE5%以上の資本収益性確保を目指します

13

ROE推移



【株主様への還元等】自己株式消却・自己株式取得を実施しました

14

■ 自己株式消却

- ・ 消却株式総数 : 90万株
(消却前の発行済株式総数に対する割合 5.0%)
- ・ 消却日 : 2023年10月31日

■ 自己株式取得

- ・ 株 数 : 408,300株
(発行済株式総数〔自己株式を除く〕の2.4%)
- ・ 金 額 : 7.5億円
- ・ 取得期間 : 2024年3月18日～2024年6月14日

【株主様への還元等】 配当金を増額します

安定的かつ継続的な配当に努める配当政策は
不変ながら、

2024年7月期 期末

普通配当16円+特別配当5円 = 21円
年間37円の配当

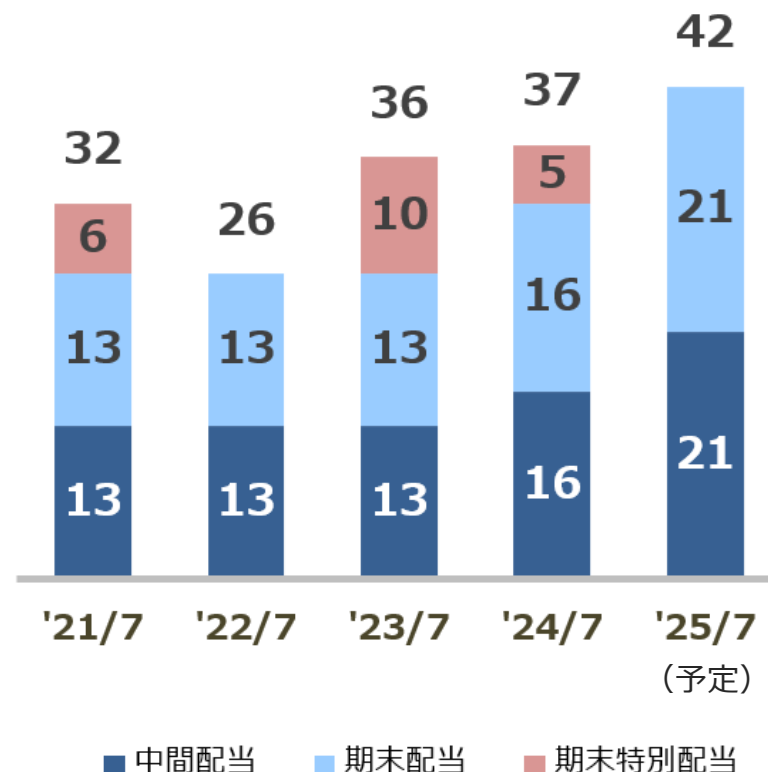
2025年7月期 配当予想

中間配当21円+期末配当21円
年間42円の配当

とすることを決定しました。
持続的な利益成長と企業価値向上につながる
設備投資を優先的に行うことが、
株主共通の利益に資すると考えておりますが、
配当、設備投資、内部留保、業績等を勘案し、
弾力的に決定してまいります。

配当金額の推移

(単位：円)



2024年7月期の業績について

持続的成長・企業価値向上への取組について
～資本収益性改善に向けて～

新製品・事例のご紹介

【ご参考】会社概要

デザイン・建築対応など製品ラインアップを拡充

デザイン性向上
カラーバリエーションの追加

シンプリー



ARCIAFIT

アルシアフィット



指定建築材料を使用するなど
より安心な製品のラインアップを充実

タフ レージ
TAFRAGE



フォルタ
FORTA 縦長大型



新しい働き方に対応した
オフィス製品の投入

VIA-ROOM

【ヴィアルーム】



使い方を提案する「用途開発」の取り組み
(当社グループのイナバクリエイティブ株式会社)



INABA CREATE

イナバクリエイティブ株式会社



小型収納庫「シンプル」に新色を追加

シンプル

- ・ 2023年8月発売
- ・ 落ち着いた端正な佇まいの新色を追加
- ・ 本体色と扉色に光沢感が控えめな「フランネルグレー」色を採用



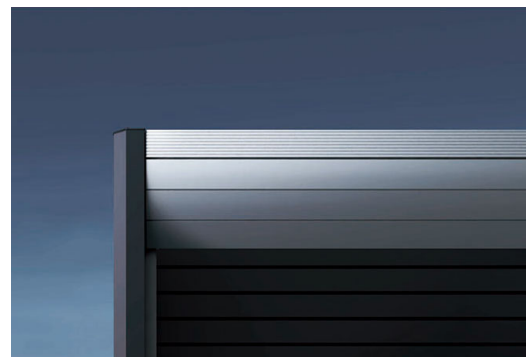
既存色

新バイクガレージ「アルシア フィット」発売

ARCIAFIT

アルシアフィット

- ・ 2023年9月発売
- ・ 好評のデザイナーズガレージ「アルシア」にバイクガレージサイズを追加
- ・ シンプルで上質なデザインと豊富なオプションで自分好みの空間に



電動開閉ガレージ「タフレイジ」発売

タフレイジ
TAFRAGE

- ・ 2023年9月発売。2024年1月にシャッタータイプを追加
- ・ 指定建築材料を使用した軽量鉄骨造で、頑丈な構造体のガレージ
- ・ 多雪型でも乗用車2台用のガレージで庫内柱がない大空間を実現



天井に沿ってパネルがスライドするオーバースライドタイプ



シャッタータイプには、静かで風に強い、
発泡ウレタンアルミ成形スラットを採用

FORTAシリーズに縦長大型タイプを追加

フォルタ
FORTA

- ・ 2024年 1 月発売
- ・ 主力シリーズ「FORTA」に縦長大型タイプを追加
- ・ 空きスペースにフィット。大容量の物置にムダなく収納



2色 扉カラー



CG
チャコールグレー



PS
プラチナシルバー

ハイエンド ストロング
HS Hi-end Strong

主要部材には、
強度保証のある鋼材を使用。
強風や地震に対する強度が
建築基準法に対応。（一部機種）

セミクロースドブース「VIAROOM」 発売

VIAROOM

【ヴィアルーム】

- ・ 2024年2月発売
- ・ オンラインとリアルが融合するセミクロースドブース



ソファも選択可能



1人用からミーティング用までサイズラインアップ

ドラッグストア 仮店舗

- ・ 東京都内のドラッグストア店舗の改装工事に伴う仮店舗の建屋に活用



カーケア・リペア工場

- ・ガソリンスタンド敷地内に建築したカーケア・リペア工場
- ・中央部分には休憩スペースを設置



休憩スペース



イナバ倉庫19連棟のテナント用建築

- ・イナバ倉庫（SGN-386GPB）19連棟
- ・イエローハット（小倉葛原店）様が敷地内に建築し、テナントを誘致
- ・今回は全ての区画をフィットネスジム店舗が賃借して出店



2024年7月期の業績について

持続的成長・企業価値向上への取組について
～資本収益性改善に向けて～

新製品・事例のご紹介

【ご参考】 会社概要

社 名	株式会社稲葉製作所（英文名：INABA SEISAKUSHO Co., Ltd.）		
代表者	代表取締役社長 稲葉 裕次郎		
本 社	〒146-8543 東京都大田区矢口2丁目5番25号		
創業・設立	【創業】1940年4月【設立】1950年11月		
資本金	11億3,204万8,500円（2024年7月31日現在）		
事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで		
上 場	東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード：3421）		
従業員数	【単体】868名【連結】1,086名（2024年7月31日現在）		
事業内容	オフィス家具・物置の製造、販売		
事業拠点	工場：3 営業所：9 配送センター：22		
連結子会社	イナバインターナショナル株式会社 イナバクリエイト株式会社 株式会社共進	当社ウェブサイト 	インスタグラム 
U R L	https://www.inaba-ss.co.jp/		

創業以来「モノづくり」にこだわり続けて成長

1940年

創業者稲葉庄市が
プレス加工業を創業



1950年

株式会社稲葉製作所
設立



1961年

オフィス家具
生産開始



1975年

イナバ物置
生産開始

1986年

デスク「Trygon」
グッドデザイン大賞受賞



1987年

「100人乗っても大丈夫！」
CMスタート



2000年

東京証券取引所上場

2007年

本社新社屋完成



2012年

イナバ倉庫発売



2013年

イナバ富岡メガソーラー
発電開始



2016年

富岡工場稼働

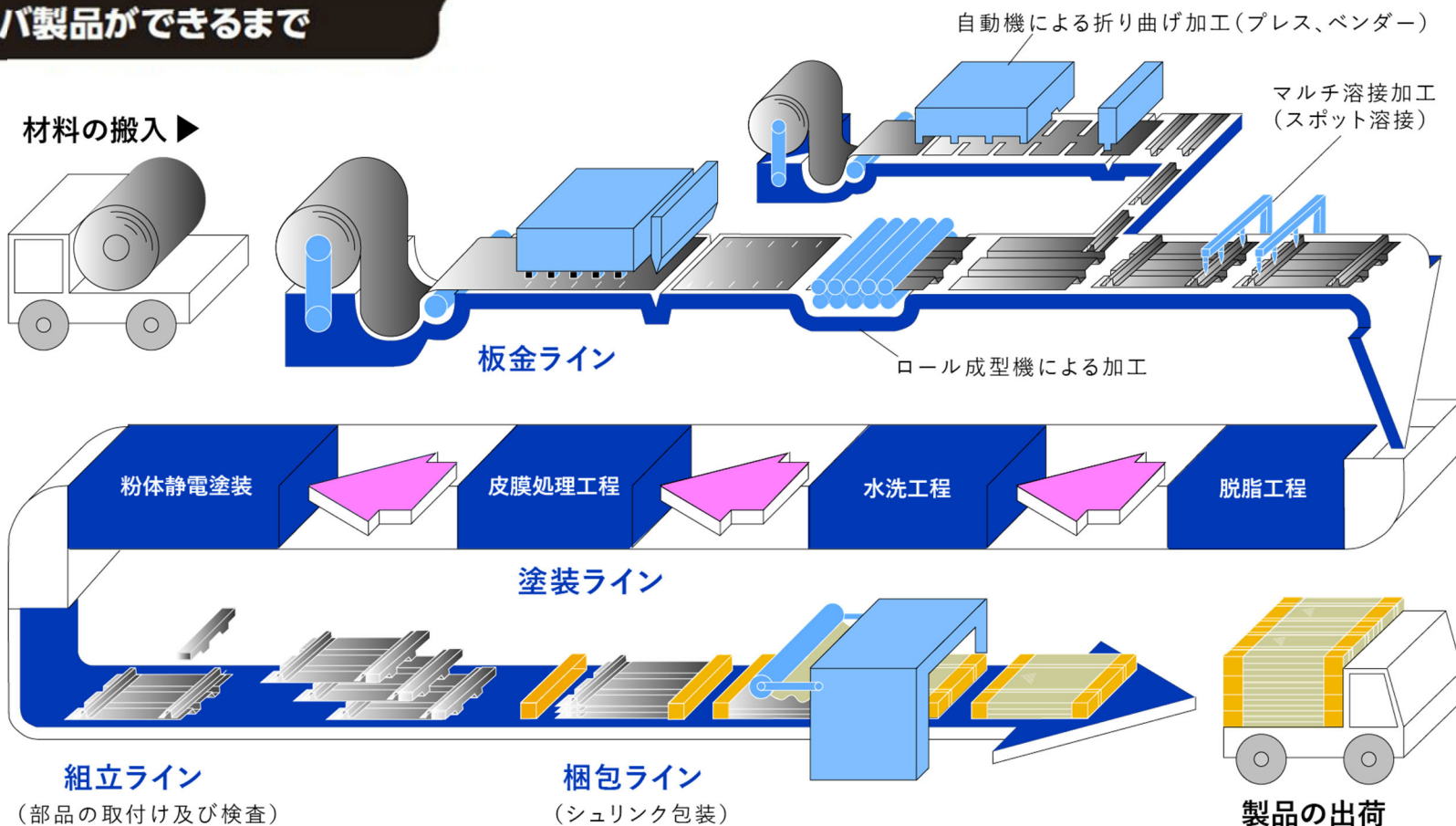
材料切断～梱包まで一貫生産。高品質と低コストを両立

29

**高い自社生産比率が、
ハイコストパフォーマンスを具現化します。**

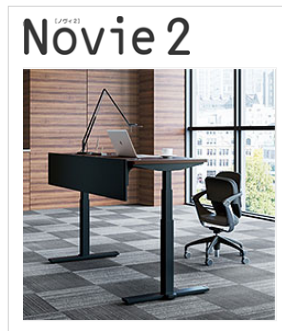
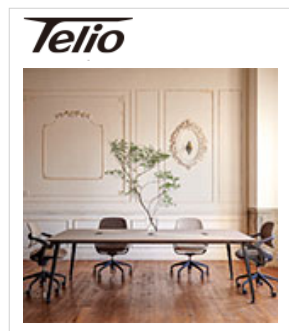
イナバの製造に関する内製比率は極めて高く、90%強となっています。メーカーから直接搬入されるコイル、アルミ素材など原料の加工から最終検品まで、すべて自社で一貫して製品化する体制がとられています。また、加工専用機械や金型製作、ライン編成、塗装設備等も自社で設計、製作。徹底的に合理化が図られていますので、コストの削減に寄与した、高品質な製品を提供することができます。

イナバ製品ができるまで



Inaba Office System ラインアップ

■ デスク



■ チェア



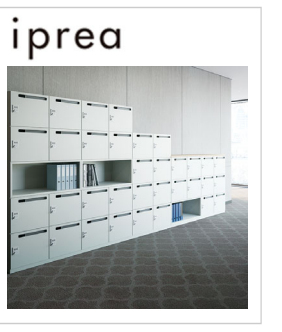
■ ブース



■ パーティション



■ ユニット収納



■ 防災備蓄



イナバ物置 ラインアップ

■ 小型物置

イナバ物置

ドア型収納庫・タイヤ収納庫



収納庫



二重構造収納庫



■ 一般物置

断熱構造物置



断熱物置



中型物置



シャッター物置



大型物置



開放スペース併設物置



■ パブリック（公共）スペース向け

ゴミ保管庫



連続型物置

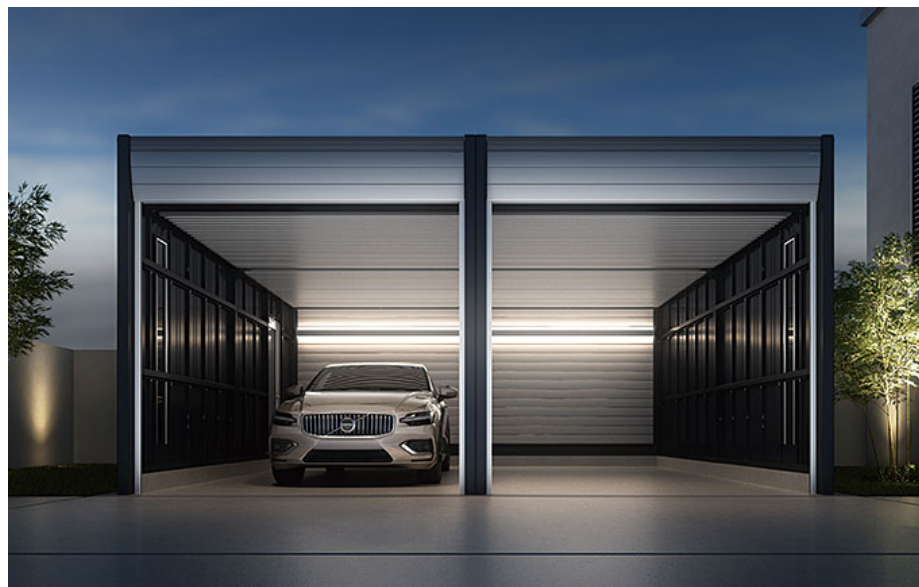


自転車置場



イナバ倉庫・ガレージ

32



イナバ倉庫

ARCIA
アルシア



バイク保管庫

ARCIAFIT
アルシアフィット



ガレージディア
GARADIA



タフレーション
TAFRAGE

厳しい独自の品質管理

社内での独自試験

- ・ 厳しい基準の独自試験を社内で実施
- ・ 試験機器なども自社で制作

品質向上委員会

- ・ 各部門から役員も参加し毎月開催
- ・ 製品の開梱から組立まで行い、
組立のプロセスや完成品の品質を検証

沖縄曝露試験場

- ・ 強い日射しと海からの潮風に
長期間さらし、物置の耐久性をテスト



沖縄曝露試験場

信頼を深める「イナバフアン」づくり

代理店様・販売店様との相互理解を
深めるためのイベントを毎年開催。
強固な販売ネットワークを構築。

物置勉強会

- ・ 販売員様を対象とした研修
- ・ 累計参加人数は延べ9万人超

物置組立競技会

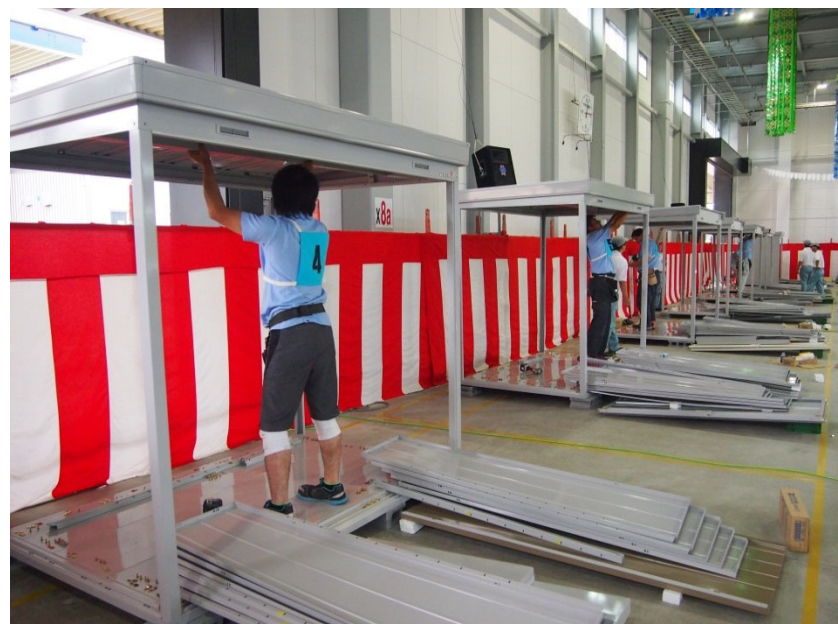
- ・ 組立職人様の技能向上
- ・ より良い製品開発へのフィードバック

代理店会

- ・ 代理店様とのコミュニケーション
- ・ 毎年この機会にCMを撮影

施工セミナー

- ・ 各地で小規模に多数回開催



▲組立競技会

環境配慮型企業としての取り組みを継続



MS
CM027



ISO 14001 認証取得

本社屋上ソーラーパネル

本社使用電力の1/3を賄う発電量



イナバ富岡メガソーラー

2メガワットの出力規模



そのほか...

- ・各拠点LED照明化
- ・工場の有害物質排出抑制

...など

将来に関する記述等について

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。既に知られた、もしくははいまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2024年9月27日現在において利用可能な情報に基づいて、当社により2024年9月27日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。